

港湾經濟研究

日本港湾經濟学会年報

NO. 1

1963

日本港湾經濟学会編

序

日本港湾経済学会会長 矢野 剛

経済を通じて港湾をみる港湾経済の研究は、技術や行政など
の面からの港湾研究に比べると非常に立ち遅れている。しかも
外国貿易に高い依存度をもつわが国としては経済成長に伴う臨
海工業ならびに工業地帯造成と絡んで日本経済と日本港湾との
関係は、個別経済・国民経済・国際経済・等の広い視野から見
直されなくてはならない段階にきていると思われる。そこで港
湾の経済学的研究の完成をめざし、かつまた広範囲の隣接科学
の各専門学者との間における協力・共同研究も願わしい。この
ような観点から 1962 年 10 月 16 日に日本港湾経済学会が多様
の使命を担つて誕生し、まず活動の第一着手として初の総会と
研究発表会が行なわれた。そのときの研究発表と、会員による
その後の研究成果ならびに資料などを一纏めにして、ここに刊
行をみるに至つたことは、まことによろこばしい。今後とも学
会の任務を十分に果たすために、より一層努力して行かなければ
ならないと思う。

目 次

序 矢野 剛

研 究

本邦戦時港湾施策

—主として民間港湾企画の推移—

矢野 剛 1頁

港湾財政の問題点 柴田 銀次郎 35頁

港湾設備の増強と地域開発 伊坂 市助 51頁

港湾における新しい労働管理の概念 高見 玄一郎 62頁

港湾運送業の現状 松本 清 72頁

衣浦港の交通 松浦 茂治 86頁

港湾経済の本質 北見 俊郎 107頁

港湾施設に与えた担當に対する

船主の責任と海上保険 今泉 敬忠 122頁

—ロンドン保険協会のP.I.クローズについて—

文 献 紹 介

「イギリス主要港湾に関する調査委員会
報告書」(ロッチデール報告書) 中西 陸 143頁

「神戸港における港湾荷役経済の研究」 寺谷 武明 151頁

學 會 記 錄

日本港湾經濟学会設立趣意書 156 頁

日本港湾經濟学会會則・役員 158 頁

學會記事（創立總會・第1回大会） 165 頁

會 員 名 簿 170 頁

編 集 後 記 178 頁